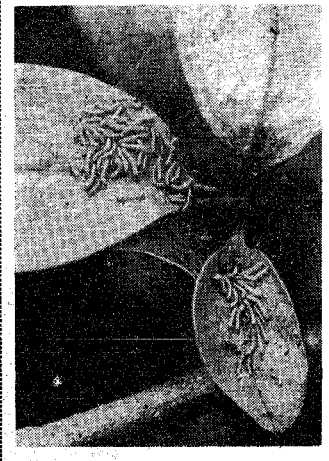
みどりの大敵

アメシロをやっつけろ

町内単位で一斉駆除を

緑の大敵！アメリカシロヒトリの発生時期が来ました。昨年秋の大発生でかなりの被害を受けた方も多数いることと思います。ことしこそ町内会共同で、この憎い敵をみんなで一斉に防除しましょう。



アメシロを駆除するには〝共同防除〟が第一です。幼虫の発生は第1回目が6月上旬で，第2回目は8月上旬です。

アメリカシロヒトリを退治するには、先ずアメシロがどんな虫であるかその性質を知っておくことが必要です。

六月上旬に

一回目の発生

アメシロは年一回発生します。第一回は六月中旬から七月下旬、第二回は八月中旬から九月下旬にかけて発生します。この時期には幼虫として葉を食い荒らします。

六月上中旬、八月上中旬に、幼虫は白い巣を作って一百～三百匹も同居しています。特にこの時期に集団のまとまることが最良の防除方法です。

朝起き五分間運動

朝起きたら五分間自宅の庭や附近の樹木を見て、巣を発見次第その枝を切り取り、踏みつぶすか焼くかしてください。

薬剤の共同散布

六月二十日頃、八月二十日頃になると、幼虫は一～二齢位の大きさになります。この時期には巣から出て樹木を花に被害をとえますので、薬剤を散布して幼虫を殺さなければなりません。

この場合、個々に防除をしても効果が上がりません。同じ地域の町内会が連合して一斉に共同防除してください。

防除器具の貸し出し

市では防除器具の貸し出しをしています。個人の申し込みには応じられません。町内単位で申し込んでください。

貸し出し器具の種類と数量は、

(イ)大型動力噴霧機　三台
(ロ)タンク付き動力噴霧機　十三台
(ハ)小型動力噴霧機　十台
(ニ)高い枝を切るハサミ　四十五丁

です。

市役所あんない

―企画調整課―

○：企画調整課の仕事を一口で言うならば、市役所という組織を無駄なく上手に運営し、また新潟市を発展させるにはどうすればよいかを総合的に調査・研究する課―ということになります。

同課はこのような部管理的な仕事をしているため、皆さんが同課と直接接触する機会はあまりないかもしれません。

○：同課は市役所三階の低合小会議室に面しており、職員数は中田課長以下十三人です。係りは企画調整係と制度係の二つに分れています。

○：企画調整係のおもな仕事は、新潟市の総合計画（マスタープラン）とその実施計画を作ることです。マスタープランはこの三月に最終案が作られました。〝夢が都市づくり〟を目指したこの計画は、四十三年度を基準とし五十二年度を目標とする新潟市の発展策が描かれています。

上越新幹線、新全国総合計画など新潟市にとって重大な問題について、その影響を調査したり、またこれらの促進の実施を働きかける仕事もこの係りが担当します。

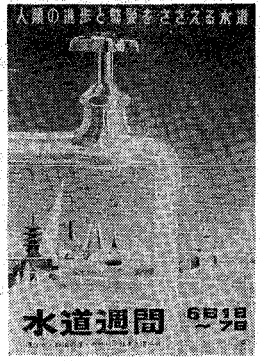
○：制度係は事務の流れがスムーズか、ロスがないかなど、事務改善の仕事をします。現在コンピューターを利用して事務を処理することを研究中です。

市役所の仕事はほとんど法律に基いて行なわれるため、他の課に法律解釈の指導をしたり、市が作る条例や規則が法律に合っているかどうかを審査するのも同係りの大切な仕事です。

仕事の内容に応じて高や課を設置する仕事もこの係りの担当です。課は市全体で五十六あります。また地区事務所、保健所学校、中央図書館、市場などの出先機関は百八十五あります。

総合計画を作成

市の発展策を調査・研究



水道があって明るい今日がある

小学生を対象に作文・図画コーン

六月一日から（第一回水道週間）が全国的に始まります。飲料水が気と同様に生命の泉であることはだれでも知っていますが、案外、水の知識のプロしいことがよく指摘されています。「水道週間」とは、健康を守り、経済を伸ばし、消火に活躍して市民生活を快適に発展させるための「水道への理解を深める週間」です。ここに新潟市水道局の仕事を紹介致しましょう。

◉〝四拡〟という言葉を聞いたことがありますか？「新潟市上水道第四回拡張事業」のことです。三年八年から五十一年までに総額八十一億円の工費を投じて、五十万人分の給水能力を持つ上水道施設を完成しようというものです。

ところが資手の翌年、大地震にあい、ほとんど最初からやり直すほどの打撃を受けました。復旧に結集した市民の熱意は水道新設にも反映し、不用の建設工事が進められました。親松取水場の新設、鳥屋野浄水場の拡張、青山配水場の近代化、南山配水池の新設、鳥屋野浄水場の拡張、青山配水場の近代化、南山配水池の新設、来春通水をめざす松浜地区を対象とした新潟水道の改良工事などがあります。

◉そこで水ですが、値段の面から見ますと一円で八㍑入りのバケツで四十二杯、一・八㍑びんで百八十五本買うことができます。また、市内に張巡らされている水道管（導水管、送水管、配水管）の総延長は八百一千一百八十六万六千メートルあります。これは新潟ナホトカ間（七百㌔）をはるかにオーバーする長さです。

◉この週間行事として水道局では小学生対象の図画（A4版～B5版）、作文（水道に関することテーマ千五百字）を募集しています。締め切りは六月二十日、新潟市水道局庶務課（〒951新潟市関屋下川原町二）あて。入選作（三位迄）に賞品、応募者全員に参加賞を差し上げます。発表は七月二十五日付け市報にかたし。入選作（一位）は厚生省後援、日本水道協会（一位）は厚生省後援、日本水道協会（一位）は新潟市社協の慰問券贈呈に応募します。

〝防火管理者資格付与〟講習会

六月五日までに申し込みを

消防本部では〝防火管理者資格付与〟講習会を実施します。従来、受講会を実施しますが五十人以上の事業所で、有資格者がいないところは受講してください。

○会場　三条会館

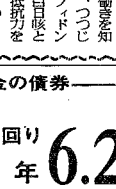
○申し込み　六月五日迄に消防本部、消防署、消防出張所へ。

○詳細は最寄りの消防署にお問い合わせください。

緑と花の作文コンクール第1位

僕と杉の子と

―鳥屋野小5年　佐藤　静―



春の陽をいっぱい浴びて、冬の眠りを赤茶けた冬芽を開いた杉の子に、一日一日、わずかずつではあるが緑がふかまってきた。

僕の家がここへ移って来ても四年。来た当時、この家の庭のすみに、枯れ草と弱々しいコスモスの群の間に、子供の純あどけない杉の子がうえられ、横たわっていた。雑草にもまけない杉の赤ちゃんであった。発見と同時に二日目光のような注ぐ人の踏み込まない庭の特等地へ移植した。

昨年の初夏の朝であった。いつものように米のとぎ汁を根に注いでいると、敬少していた老人が、「ほう、新潟にも杉が育ちますね」と、言いながら通り過ぎて行かれた。不思議に思いながらもその時の老人の言葉の意味がくみとれなかった僕ではあったが、土地に馴れ、校区内や市内を歩きまわるにつれて、新潟市内に杉の木がほとんど見当らないことを知った。

海岸都市で塩害のためか、土質のためなのか、僕にも、母にも、近所の人にもはっきり言えない理由はわからないが、母年十機ずつ仰ぐ次第に枝をはりなくまいく成長する杉の子に、いつの間にか、僕は自分の姿を見るような愛着を感じるようになった。

なぜなら、僕は一緒に育ちますから、水も飲めず、母も祖父もこの子は育つのかなうかと心の中で心配し続けていたのだったからである。いつかは歩けるようになり、広い庭で、緑と花とそこから吸収される新鮮な空気を入れる。友達ももう一いらない。寄の陽は杉の子にも僕にも微笑の眼ざしを惜しんでくれない。大きくなるのだよ。強くたくましくなるのだよ。

僕は最近になって、緑、特に新緑のもたらす偉大な働きを知った。それは、杉や松、つつじ等の新緑が微粒子のフィドンチットが発散され、百日咳とかジフテリアに自然の抵抗力をやしなってくれるのだということを。

「僕の杉の子よ、今たくさんある新潟市の松の緑と共に公害でよされた新潟市民ののどを守る大きな役割をになっているのだよ。僕もこれから一生懸命にお前の育ちに役立つために参考書を調べてがんばるから、新潟に杉は育たないというジンクスになんか負けるのではないのだよ」

そこぬけに明るいこの下で杉の子がまさにそうは目をあけて僕に呼びかける。

「静さ、君も大分が年らしくなったね。体なんかチビって言われたって、ちっとも気にすることなんかないよ。目標を決めたら真っぐらに突き進めばいいんだよ。あとは読書心のデッカイ人間になるんだ。そのうちに背もうーんと伸びるよ」

「そうだ、そうだ二人で頑張ろうよ」

僕と杉の子の会話は毎日毎日続くことだろう。

この欄の広告の取り扱いは新潟県農業センター

夏のボーナスはこの定期へ

旅行やご家庭サービスもけっこうですが、ことしも、ボーナスの一部は〈ダイ四〉へ。それには、イザというとき、いつでも引きだせる〈ダイ四〉ご便利定期。急な出費を恐れずに、ボーナス計画を確実に進められます。

いつでも使える！〈ダイ四〉ご便利定期

すぐそばにある　新潟支店

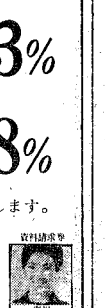
安全・有利な農林中金の債券

最高です

ワリノー　1年貯蓄で最高（無記名）　利回り年6.213%

リツノー　5年貯蓄で最高（無記名）　利回り年7.638%

※農林債券は、あなたの貯蓄をいっそう大きく殖やします。

農林中央金庫新潟支所
新潟市寄居町344の1　〒951　TEL(0252)22-4151(代)

資料請求券